



かながわの交通


2011
6

今年の交通安全年間スローガン(警察庁長官賞)ーこども部門

目的地「早く着く」より「ぶじに着く」



ハンドルキーパー運動推進中!



飲酒運転根絶!!

今日のハンドルキーパーさんは?

◎県内の交通事故発生概況(5月末)

◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成23年		15,315	66	18,084	県人口	9,029,996	4,543,159	4,486,837
平成22年		16,680	74	19,841	免許人口	5,508,182	3,219,917	2,288,263
増減数		-1,365	-8	-1,757	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	2.0人に1人
増減率		-8.2	-10.8	-8.9				

(県人口は平成22年9月1日、免許人口は4月末)

二輪車交通事故防止強化月間

6月中



期間

6月1日(水)～30日(木)

目的

多発する二輪車の交通事故と二輪運転者の交通安全意識を高める運動を県民総ぐるみで展開するとともに、暴走族(四輪を含む)追放気運を醸成して暴走族の加入防止と離脱の促進を図る。

スローガン

○運転に ゆとり やさしさ 思いやり

○暴走は しない させない ゆるさない

重点

- 1 二輪車の交通事故防止
- 2 暴走族の追放

交通安全協会の推進事項

● 暴走族・二輪車の無謀運転追放のキャンペーンを実施し、地域住民に対する交通安全意識と暴走族追放気運の醸成を図る。

● 二輪車交通安全講習会などの交通安全教育の場への積極的参加の呼びかけを行う。

● 地域における暴走族への加入防止や追放の取組みを推進する。

● 家庭における交通安全の話し合いを奨励するとともに、「交通安全ひとこえ運動」を推進する。

● 暴走族、不正改造車両を見かけたら、警察への通報活動などを推進する。

神奈川県警察からのお知らせ

二輪車事故ストップ

～ 二輪車交通事故防止総合対策実施中 ～

神奈川県内では、平成22年中の人身交通事故全体に占める二輪車乗車中の死者の割合が約36%を占め、全国平均の約18%に比べ約2倍と高く、特に自動二輪車(エンジンの大きさが50ccを超えるオートバイ)の割合が高い傾向にあります。

そこで、神奈川県警察では交通安全対策協議会主唱の「二輪車交通事故防止運動」の一環として、二輪運転者の交通安全意識を高め、二輪車の交通事故防止の徹底を図るため「二輪車交通事故防止総合対策」を実施しています。

スローガン 「運転に ゆとり やさしさ 思いやり」

神奈川県警察では、次のことに重点を置いて白バイを事故多発路線に巡回方式により投入した活動を行います。

- 1 二輪車交通事故発生実態に即した交通指導取締りの強化
二輪車の交通事故多発路線、地域及び時間等を勘案して、事故に直結する速度超過、割り込み及び進路変更等の交通違反に対して積極的な取締りを行います。
- 2 交通安全教育の推進
自治体や関係機関・団体等と連携し、計画的な交通安全教育を実施します。
二輪車事故が多発している高校、大学及び事業所等を重点とした二輪車安全運転講習を効果的に実施します。
- 3 自治体等関係機関・団体と協働・連携した広報・啓発活動の推進
関係機関・団体と連携し、二輪車事故防止キャンペーン・二輪車街頭点検などを実施します。
- 4 交通規制の見直しと交通安全施設等の整備の推進
二輪車交通事故分析及び現地診断結果に基づく適正な交通規制の実施・見直しや道路管理者などと連携した交通安全施設の整備を積極的に推進します。



第42回二輪車安全運転 神奈川県大会実施結果



各クラス優勝の皆さん

県交通安全協会、県二輪車安全推進委員会、県警察主催、県、神奈川県新聞社、二輪車普及協会等後援の第42回二輪車安全運転神奈川県大会は5月21日(土)午前9時から県自動車運転免許試験場で開催されました。

大会は4クラスに分かれ、65名の選手が、踏切、横断歩道など5地点にチェックポイントを設定したコースで行う法規走行、コーナリング(曲路走行)、ブレーキリング(制動)など7種目の課題を設定したコースで行う技能走行について安全運転を競いました。結果は、各クラスとも僅差の中で入賞者が決まるという安全走行、技能走

行ともレベルが高いものとなりました。

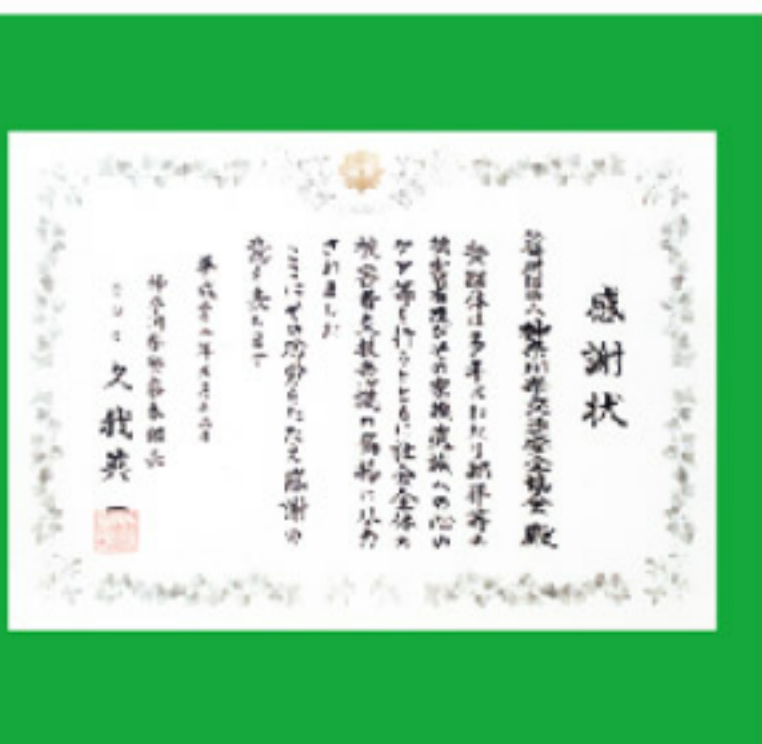
入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- Aクラス
 - ① 藤井峰夫 ② 岸 準太
 - ③ 小倉 剛
- Bクラス
 - ① 杉山盛二 ② 石井孝幸
 - ③ 川島貴仁
- Cクラス
 - ① 柴崎璃央 ② 小泉誠弘
 - ③ 長谷川明
- 女性クラス
 - ① 北小路結花 ② 富岡敦子
 - ③ 酒井美樹

以上の選手の中から、全国大会へ出場する選手を考

警察本部長から感謝状の贈呈

当協会は、警察の行う被害者支援について尽力し、社会全体の被害者支援意識の高揚を図ったとして、このほど、神奈川県民センターで神奈川県警察本部長から感謝状が贈呈されました。



正副会長会議・理事会の開催 平成22年度事業報告等を承認



平成22年度県交通安全協会正副会長会議及び第2回理事会が5月23日午後、県協会会館において開催されました。初めに石坂正副会長会議が行われ、石坂会長はじめ理事20名出席の下、「平成22年度神奈川県交通安全協会事業報告」、「平成22年度神奈川県交通安全協会決算報告」及び組織改編に伴う新組織体制について審議され、いずれも原案どおり承認されました。



公益財団法人として新たなスタート

5月30日(月)午後、新横浜国際ホテルにおいて公益財団法人発足式が開催されました。当日は、石坂会長をはじめ、副会長、理事、評議員、監事、各地区事務局長が、また、来賓として黒川県副知事、久我警察本部長、全日本交通安全協会奥村理事長、佐藤交通部長ほか県警交通部幹部、関係機関・団体の代表者など165名の方々にご出席をいただきました。

石坂会長の挨拶に続き、黒川県副知事、久我警察

本部長、奥村全日本交通安全協会理事長からご祝辞をいただいた後、当協会高橋専務理事から経過説明と決意表明が行われ、名実ともに公益財団法人としてのスタートを切りました。



タイムマシーンをあげたい ⑫

警察官から見た交通死亡事故の回顧録
英雄は親不孝



ある日、バイク雑誌をめくると、「最速の男の死に捧ぐ」との掲載記事が目についた。以前管内で取扱った死亡事故を題材としたものであった。

その事故は、昭和も終わりに近づいたバブル最盛期の早春、日曜日のうららかな午後、に起きた。

現場は、歩車道の区別のない、片側一車線の急カーブが連続する道路で、バイクを主とするローリング族のメッカとして知られていた場所だった。

亡くなったのは、当時、県立高校に通っていた少年で、

五十ccのスポーツバイクに、わか仕立てのライダーズスーツを身にまとい、両膝には缶詰の空き缶をガムテープで巻きつけていた。

時速八十キロから六十キロにシフトダウンして、右に傾斜させたバイクと身体を一瞬に引き、左に急傾斜させて急カーブに挑んだ際、一瞬の操作ミスで転倒し、全身打撲による死であったことを思い出した。

親よりも先に死に急いだ若者の行為は最大の親不孝であり、ご両親の悲しみは計り知れず、やり場のない無念さが募るばかりといった様子をも脳裏をよぎった。

しかし、雑誌の記事は、ローリング族の聖地で、危険を顧みず命をも賭して挑んだとして、少年を英雄であるかのように称え、その死をあたかも賛辞するかのよう内容であった。

現在も、神奈川県内の二輪車事故は多発している。

自転車ルール・マナー 呼びかけ隊が啓発活動を展開

～自転車運転中の携帯電話・イヤホン等の使用禁止～

5月1日に神奈川県道交法施行細則が改正され、自転車運転中の携帯電話、イヤホン等の使用が禁止されたことから、相模原北警察署、相模原北交通安全協会等で構成する「自転車ルール・マナー呼びかけ隊」が区内の県立高校前で、広報用のぼり旗を掲出し、通学に自転車を利用している生徒にチラシ、啓発物等を配布しながら改正された道交法細則の内容を広報・周知し、交通ルールの遵守とマナーの向上を呼びかけました。



トピックス

～日産自動車県協会へ「交通安全教育用DVD」等を寄贈～



日産自動車株式会社では、1972年から「ハローセーフティキャンペーン」と題して交通安全啓発活動を行っており、毎年、春・秋の交通安全運動と連動して、地域に根ざした草の根活動を展開しています。こうした中で、このたび小学校入学前の子ども達に分かりやすく、基本的なルールを学んでもらいたいとして交通安全DVD「こうつうルール、チェックだワン」、高齢ドライバー向けの小冊子「ENJOY DRIVING LIFE」を、同社渉外部西方課長から県交通安全協会高橋専務理事へ贈呈されました。県交通安全協会では、交通安全教育教材として地区交通安全協会で行う交通安全教育等で活用してもらうこととしています。

地域交通安全活動推進委員の活動

～地域交通安全活動推進委員は自転車の通行ルールの普及を図ります～

自転車指導の研修会

(道交法:第108条の29第2項第4号)



事故防止キャンペーン



自転車街頭点検



自転車安全利用五則

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で車道よりを徐行
- 4 安全ルールを守る
- 5 子供はヘルメットを着用



自転車安全指導

運転免許試験場コース開放のご案内



運転免許試験場で運転に自信のない方や仮免許、限定解除、外国免許からの切替等で技能試験を受けられる方は運転免許試験場で運転練習ができます。

開放日時

- 土曜日、日曜日及び祝日のうち指定した日(年末年始の休日を除く)
- 午前8時から午後4時まで。
※練習日及び時間等が変更される場合がありますので、予約時間を確認してください。

練習できる車両

大型自動車(一種、二種)、中型自動車(一種、二種)、普通自動車(一種、二種)、牽引自動車(一種、二種)

練習方法

- 車を持ち込んで練習する方法
但し、バス・トラック・けん引車は補助ブレーキを備えたものに限る。
・普通車は長さ4.7メートル以下、幅1.7メートル以下のものに限る。
- 車を借りて練習する方法
県交通安全協会が準備した車を貸車して練習を行います。

運転練習の条件

- 年齢18歳以上で、普通運転免許を新たに取得しようとする方

- 普通免許を取得していて、大型、中型、けん引免許を取得しようとする方

- 運転免許を取得していて、運転の練習をしようとする方

指導員の同乗

- 普通二種免許を除き、指導員の同乗が必要です。
- 指導員は
 - ・持ち込み車両は該当免許経験3年以上の同行指導者
 - ・貸出し車両の普通(AT)車は、該当免許経験3年以上の者
 - ・普通(AT)車以外の貸出し車両は交通安全協会が指定した者となっています。

練習料金(1時間 50分単位)

- 車を持ち込んで練習する場合
 - ・普通自動車 3,500円
 - 貸車を利用して練習する場合(交通安全協会会員料金)
 - ・大型バス・トラック 8,500円(会員 8,000円)
 - ・けん引自動車 8,500円(会員 8,000円)
 - ・中型バス 8,000円(会員 7,500円)
 - ・中型トラック 7,000円(会員 6,500円)
 - ・普通自動車 5,500円(会員 5,000円)
- ※上記料金は、貸車料金とコース料金の合計金額です。

予約、申込み要領

予約制をとっていますので練習希望日までに電話または直接、窓口で予約をしてください。

- ・予約開始日 2週間前
- ・予約時間 午前8時から午後4時まで(年末年始の休日を除く。)
- ・予約電話番号 045-362-3486
- ・予約窓口 二俣川運転免許試験場1号館1階技能試験待合所内公益財団法人神奈川県交通安全協会運転練習事務所

携行品

- 持込み車両の車検証、強制保険証、任意保険証
- 指導員の運転免許証
- 運転免許取得者は、練習者の運転免許証



ハンドルキーパー運動の紹介

その186 磯子交通安全協会から

磯子交通安全協会(黒川順吉会長)では、磯子公会堂で飲酒運転根絶キャンペーンを開催し、その後、通行中のドライバーにチラシ、啓発物などを配布しながらハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



その185 神奈川交通安全協会から

神奈川交通安全協会(須藤照彦会長)では、警察署入口に「ハンドルキーパーのぼり旗」を掲出し、警察署を訪れる人にハンドルキーパー運動の実践を呼びかけています。



その188 県交通安全協会から

春の全国交通安全運動の実施を前にして、地元神奈川新聞社に公益財団法人としての今後の取組み姿勢と「ハンドルキーパー運動推進中」の意見広告を掲載して、広く県民の方々にハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。

公益財団法人
神奈川県交通安全協会
会長 石坂 浩二

神奈川県交通安全協会は、
公益財団法人として
新たなスタートを切りました!

「交通事故のない安全で安心な地域社会の実現」を目指し、さらなる公益性の高い交通安全事業を推進します。

—ハンドルキーパー運動推進中—
飲酒運転根絶!!
今日のハンドルキーパーさんは?

〒222-0033 横浜市港北区新横浜二丁目12番15
TEL 045-478-0166 FAX 045-476-5524
ホームページ <http://www.k-manner.or.jp/>

その187 厚木警察署管内交通安全協会から

厚木警察署管内交通安全協会(石井廣好会長)では、GW期間中相模川、中津川にパーベキューに来ていた行楽客に、飲酒運転根絶のための「ハンドルキーパー運動」の実践を呼びかけました。



その190 緑交通安全協会から

緑交通安全協会(岩岡紀一会長)では、JR鴨居駅周辺で、「飲酒運転根絶」のぼり旗を掲出し、乗降客にチラシや啓発物を配布しながら「ハンドルキーパー運動」の実践を呼びかけました。



その189 港南交通安全協会から

港南交通安全協会(高森政雄会長)では、野庭住宅連合フェスタでブースを設け、訪れた人達にチラシや啓発物を配布しながら、「ハンドルキーパー運動」の実践を呼びかけました。





伊勢佐木交通安全協会
会長
小島 弘之さん
（こしま ひろゆき）

伊勢佐木交通安全協会は、昭和23年10月に発足し、その後、昭和51年1月に、警察署の移転に伴い、事務所を警察署内におき、現在に至っております。

伊勢佐木町といいますが、華やかな夜の歓楽街、伊勢佐木町商店街通りのイメージが強いと思います。しかし、JR関内駅から南区にかけての地域は、地元では「埋地地区（うめち）」と呼ばれており、その由来は、約340年ほど前（江戸期、寛文7年）「吉田勘兵衛翁」により干拓事業が行われ、北に大岡川、南に中村川、堀割川、その真ん中に吉田川を造り、十数年の歳月をかけて完成させたものです。また、現在でも使用されている「翁、日の出、不老、長者、寿、松影」などの町名は、観世流の狂言の中から付けられた名残と言われています。

さて、今回はこの地で交通安全協会会長を務めておられます小島弘之さんを紹介いたします。小島さんは、平成17年8月に当協会の代議員として協会の運営に参画され、その後、理事として交通安全活動等の推進役として活動し、平成22年6月から、新進気鋭の会長として協会の運営に当たっています。また、平成19年には「埋地地区連合町内会長」に推挙され、連合町内会のみならず、幅広い活動を行っています。私生活での小島さんは、ご自身の会社運営に手腕を発揮されており、一市民としての感覚で社会活動や交通ボランティア活動に参画され、各種事業を推進しています。具体的には、毎年、各季の交通安全運動はもとより、港まつりパレード会場の「伊勢佐木商店街」、明治時代のガス灯が設置されている「馬車道商店街」大道芸で知られる「野毛商店街」で行われる交通安全キャンペーン等にも率先して参加され、ボランティアリーダーとして活躍しています。

インフォメーション

- 第42回交通安全子ども自転車県大会
7月2日(土) 横浜文化体育館
- 夏の交通事故防止運動
(7月11日から20日まで)
- 表彰審査委員会
7月30日(金) 県協会会館

特に、今年の9月には「吉田勘兵衛翁」を祀る「お三の宮・日枝神社」の本祭りが開催され、大神輿のほか、担ぎ神輿四十数基による「連合渡行」が一斉に伊勢佐木商店街に繰り出される大きな行事を控えており、交通安全協会会長、埋地地区連合会長との二つの顔で、祭りの采配を振るう会長は「今からの楽しみでもありませんが、事故防止という観点からは非常に緊張しています。」と話しています。昼間よりも夜間人口が、平日よりも土、日、祝日の人口が多いと言われるこの伊勢佐木地区における交通ボランティア活動は他の地区と違った難しさがあると思いますが、会長には、今後とも更なるご活躍をいただき「安全、安心な街、伊勢佐木」を目指して邁進されることを願っております。

（取材協力：伊勢佐木交通安全協会）

こんにちは
「加賀町交通安全協会」です

加賀町交通安全協会は、昭和23年4月1日に自家用自動車組合が中心となり、交通安全思想の普及徹底と交通事故防止を図ることを目的として発足しました。当時は戦後の間もない時期で交通安全に対する関心が低い中、連合軍当局の示唆もあり、民間交通安全の組織化が図られました。市内では、南(寿)、神奈川、磯子に続いて4番目の地区交通安全協会であり、事務所は加賀町警察署内に置かれています。

協会の担当地域の中には、中区の一部で多くの飲食店のある中華街、オシャレな店が並ぶ元町商店

街、横浜市庁舎、裁判所、警察本部等が所在する日本大通り周辺の官庁街があります。中区に、加賀町という地名がないのに何故？ と良く聞かれますが、由来は警察署の所在地がかつて「居留地加賀町203番地」であり、開港当時この付近を加賀藩が警備に当たっていたことにあると言われていました。

協会の組織構成は、杉島会長以下26名、事務局は2名であります。エリアの人口は約2万1千人、免許人口は約1万1千人、免許更新者は1日平均4人という状況です。交通安全活動は、警察署、中区交対協、安全運転管理者会等の関係機関団体と連携を密にしながら、各



季の交通安全運動のキャンペーン等を行っています。こうした活動が奏功してか、今のところ3年間「交通死亡事故ゼロ」を達成し、今後のゼロ更新を目指して協会員一同頑張っています。今後も、各地区協会の活動を参考にさせていただきながら、地域の安全・安心を目指した活動に専念して参りたいと考えております。

（根津 記）

地区交通安全協会の活動紹介

～自転車マナーアップ・春の全国交通安全運動～



浦 三
 汐風アリーナで、交通安全子ども自転車大会を開催して、自転車の安全な乗り方や交通事故防止のポイントを指導しました。



山 葉
 葉山警察署前道路で、春の全国交通安全運動キャンペーンを行い、通行中のドライバーや道行く人に啓発物を配布し、交通事故防止を呼びかけました。



船 大
 JR大船駅構内で、乗降客にチラシや啓発物を配布しながら、春の全国交通安全運動のキャンペーンを行い、交通事故防止を呼びかけました。



瀬 大和
 綾瀬市文化会館駐車場で県警第二交通機動隊の白バイ、パトカー隊の協力を得て、春の全国交通安全運動の出陣式を実施しました。

南 港
 京急上大岡駅構内で、乗降客にチラシや啓発物を配布しながら、春の全国交通安全運動のキャンペーンを行い、交通事故防止を呼びかけました。



旭
 鶴ヶ峰自動車学校で、交通安全子ども自転車大会を開催して、自転車の安全な乗り方や交通事故防止のポイントを指導しました。



前 宮
 東高根森林公園前の道路で、二輪車の街頭指導を実施して、二輪ライダーに多発する二輪車事故の防止を呼びかけました。



浦 田
 京急追浜駅前商店街で、春の全国交通安全運動のキャンペーンを行い、「チンドン屋」を先頭に、啓発物を配布しながら、道行く人に交通事故防止を呼びかけました。



あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

今年、統一地方選挙の年なので「春の全国交通安全運動」は五月に実施された。「3・11大震災」の影響もあり、各地区の交通安全運動はチャリティー方式の運動を兼ねた運動が多く展開されましたが初期の目的を達成することができました。

特に、交通安全運動には、「母の会」の存在が大きく、何かにつけて運動の中心的役割をしてくれているのも事実です。先月「県母の会連合会総会」に出席をさせていただきましたが、熱意あふれる総会でもありました。例の大臣に是非、出席をして活動方針や事業の実態等を見て感じて欲しいと思いました。

さて、六月は「二輪車の交通事故防止月間」となっておりますが、現在まで二輪車が係わる交通事故が増加しております。何とか歯止めをかけることはと思っておりますが、この点についての安全運転意識の高揚とルールの遵守の啓蒙も宜しく願います。

当協会も公益財団法人として四月に旗揚げをしてスタートいたしました。日増しに期待が高まり、たくさんの方の激励を賜っており、責任の重大さを認識しているところです。新公益法人としての神奈川県交通安全協会が高い公益目的事業として「県民のための交通安全活動」を、地区交通安全協会や自動車関連団体と協働して、更に推進していくことを発足式の時に誓いましたが「初心を忘れず」に新たな石坂会長の下で協会全体がさらに一致団結して交通安全活動に取り組んでまいりたいと思います。

(T.T記)